

大学名 佐賀大学

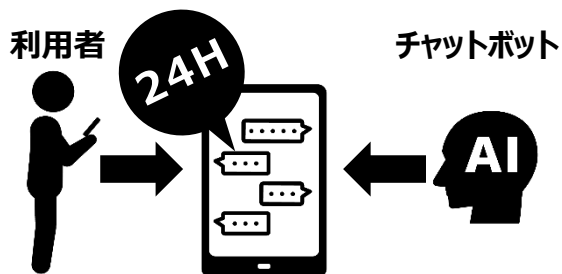
表題 「AIチャットボット」、「RPA」などによる業務プロセスの変革と働き方改革

佐賀大学では、DX推進準備室を設置し、各種ツールを活用した業務の効率化を進めるとともにデジタル・キャンパスの実現を目指している。

AIを用いた問い合わせシステム

2018年7月、**国内の大学として初めて**自然言語を解析し回答する人工知能「**AIチャットボット**」を受験生向け問い合わせに導入し、運用を開始。

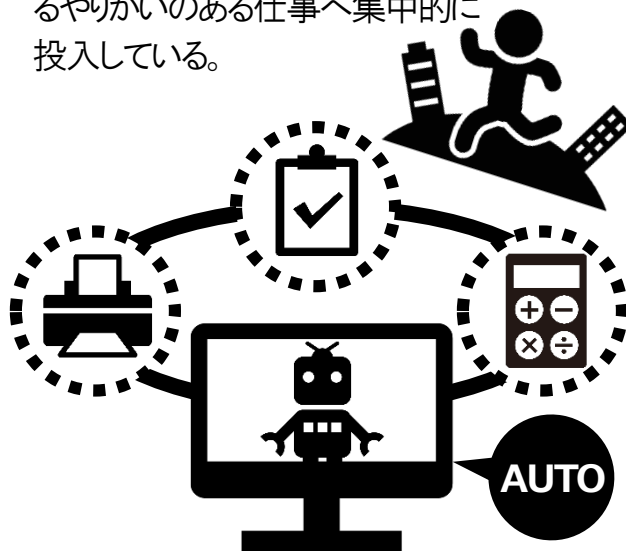
入試(受験生向け)、教務・就職(在学生向け)に関する質問や相談に365日24時間、AIが回答するサービスでウェブサイトに設置。Q&Aは約1,500のパターンを作成し、毎年約12,000件の質問に自動応答、約1,000時間の電話対応時間を削減。スマホから気軽に質問できることや夜間にも使えるなど高校生や学生の利便性も向上している。<https://sdcunivchat.qabot.jp/>



ロボットによる業務の自動化

2018年から**RPA(Robotic Process Automation)**を順次開発導入。

データの転記、集計作業、印刷など現在23の定型業務を自動化するRPAロボットを作成し、年間約1,600時間を削減している。この資源を教育・研究の水準向上に繋がるやりがいのある仕事へ集中的に投入している。



電子決裁の導入

2021年9月から**電子決裁を可能とするグループウェア**を大学全体で導入。

決裁時間を大幅に短縮するとともに決裁押印も廃止し、添付資料のペーパーレス化が促進された。また、スケジュール機能、掲示板機能、文書管理機能等により、テレワークの定着を可能とした。

